

＝ 平成22年・第3回定例会 (H22.09.02～09.16) ＝



平成 22 年・第 3 回定例会は、平成 22 年 9 月 2 日～16 日までの 15 日間の会期で開催されました。

▼提案理由説明では、市民の健康増進や福祉の向上を図るスポーツ機能と災害時における避難場所としての用途を備えた「和倉温泉多目的グラウンド」が完成した。そして風光明媚な七尾湾が一望できる事から、スポーツ合宿拠点・誘客施設として、和倉温泉の活性化にも大いに資するものと期待するとなりました。

▼さらに 10 月には、県内各地で「光る汗！輝くいしかわ笑顔の輪」をテーマに「ねんりんピック石川 2010」が開催され、当市ではこの和倉温泉多目的グラウンド等を会場に、全国各地から 24 チーム総勢約 500 名が参加して、サッカー交流大会が行われる。この大会を契機に、より一層交流人口の拡大を目指し、魅力ある七尾市を全国発信して行くとなりました。

▼小中学校施設の耐震化に向けた取り組みでは、小中学校の耐震補強・改築は喫緊の課題であるとし、耐震診断をした結果に基づき施設整備計画案を策定し、耐震化を着実に実施する。▼本年度はまず、昭和 38 年に建設された山王小学校の改築に向けて基本設計に係る予算を計上し、実施設計については債務負担行為を設定して、改築工事の早期着工を目指すとなりました。

▼平成 22 年度一般会計補正予算については、耐震診断結果による小学校の耐震整備のほか、本年度中に実施しなければならないものについて、3 億 2,182 万 8 千円の追加を行い、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 305 億 7,438 万 6 千円としました。また、平成 21 年度決算状況について、健全化判断比率のうち、実質赤字比率・連結実質赤字比率はそれぞれ実質収支額が黒字のため赤字比率はなく、実質公債費比率は 20.2%、将来負担比率は 194.9%であり、いずれも早期健全化基準を下回っている。特に将来負担比率については、対前年度 15.4 ポイント減と大幅に改善したとしました。さらに、公営企業の「資金不足率」についても基準を下回っており、財政の弾力性を示す経常収支比率は、対前年度 3.3 ポイント減の 94.5%で、健全化が進んだ結果になったと報告した。

▼今議会では、代表質問 5 名、一般質問に 9 名、計 14 名の議員が立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な議論が交わされました。▼私は 10 日に登壇し、市政全般について質問をしました。▼皆様に 9 月議会の概ねをご報告いたします。



＝ 9月補正予算の推移

(単位:千円)

区 分	平成 22 年度		平成 21 年度	
	補正額	補正後額	補正額	補正後額
■一般会計	321,828	30,574,386	365,248	31,576,885
■特別会計(12 会計)	△3,910	17,223,728	83,500	18,643,711

■ 9月補正予算・主要事業一覧表

I.地域経営		(単位:千円)	事業費	担当課
企画費	プチ起業セミナー開催(6回)、行政アドバイザー増額		1,230	企画課
II.産 業				
農業委員会費	農地利用状況調査の地図情報整備(能登島農地図整備)		1,906	農業委員会
中山間地域活性化対策	中山間地域直接支払交付金(要件緩和希望団体の増)		14,800	農林水産課
堆肥化施設整備事業	生ゴミの堆肥化に向けて悪臭発生防止対策策定経費		2,340	〃
県単土地改良事業	土地改良施設整備(ため池、排水路)田尻地内、塩津地内		12,900	〃
県営圃場整備事業	西三階地区・圃場整備追加額事業負担金(5.5ha、暗渠 6.6)		6,000	〃
県営圃場整備事業	高階地区・圃場整備事業追加額に係る事業負担金 調査設計一式、換地費一式、用水ポンプ場一式		6,750	〃
県営基幹排水対策	高階地区・基幹排水対策特別事業の追加額事業負担金 排水路 200m、600m(国 50%、県 25%、市 25%)		35,000	〃
県営老朽ため池整備	追加額事業負担金(測量設計資質調査一式)堤体工斜樋		16,800	〃
観光施設管理運営費	能登島家族旅行村施設更新、城山登山道供水管修繕		65,840	観光交流課
合宿拠点整備事業	和倉温泉多目的グラウンド整備追加工事及び備品増額 (屋外トイレ設置、付帯、植栽工事、備品購入)		34,000	〃
ポートセールス事業	七尾港利用促進調査費補助金(七尾港整備・振興促進協)		3,000	企画課
街路維持管理費	七尾駅前広場時計設置経費(屋外時計設置 1基)		2,100	都市建築課
III.教 育				
山王小学校建設事業	地質調査、用地測量、基本設計委託(H22~H26年度)		28,000	子ども 教育課
公民館施設維持補修	相馬公民館用水ポンプ取り換え工事支援		2,300	
IV.健康・福祉・医療				
公立保育所運営費	保育料システム改修、いしかわ子育て支援施設活動充実		15,914	子育て支援
市立保育所特別保育費	特別保育の補助基準や単価変更及び対象施設追加増額		12,248	〃
子育て支援施設運営費	いしかわ子育て支援活動支援(児童館)、ふれあいランド		4,816	〃
予防接種事業費	日本脳炎の積極的勧奨の再開に伴う予防接種実施支援 3~4歳未満(841人、第1期初回 2回接種) 接種機会を逃した者で保護者が希望(3,228人)		12,679	健康推進課
V.生活環境・都市基盤				
コミュニティバス運行	バス停上屋設置(中島町横見地内)		1,680	環境安全課
地球温暖化・省エネ対策	住宅用太陽光発電システム設置経費の補助増額		1,793	〃
ごみ処理対策費	海岸漂着物地域対策推進事業 L=3km H22.11頃実施		3,150	〃
漁港海岸高潮対策	三室漁港高潮対策事業増額(測量調査設計、離岸堤工事)		29,999	土木課
市単道路改良工事	南大呑 53号線道路改良(L=23m、W=3m)		3,000	〃
市単道路改良工事	中島オートキャンプ場進入道路(L=325m、W=5.5m)		4,942	〃
都市公園管理費	小丸山公園管理費増額、市内公園の廃棄物処理手数料		4,854	都市建築課

【議会質問】

※ 今議会質問は、9月8～10日に行われました。私は10日に登壇し、8点24項目にわたり議会質問いたしましたので、その概ねを報告します。

スポーツ等合宿の郷づくり構想に向けた取り組み

質問



・-1. 和倉温泉多目的グラウンドに隣接する県有地の土地利用を図り、「スポーツ等合宿の郷づくり構想」が出来ないか？ -2. 「能登応援団」として、サッカー等スポーツ日本代表選手を活用する取り組みが出来ないか？ -3. 市内グラウンドの一元的な管理運営と有効活用のあり方を伺う。

- 1. **市長答弁** 位置、規模的に魅力的な土地である。市の土地利用計画の策定をしながら検討して行く。
-2. サッカーの日本代表選手等を活用した、能登応援団の創設は良い提案だ。他のスポーツ競技にも併せて作って行く事が出来れば、能登全域の合宿誘致や観光客、交流人口の拡大になるので、前向きに検討して行く。

教育部長答弁 -3. 合宿団体だけでは無く、市民の利便性や施設の有効活用からすれば、申請から許可まで全スポーツ施設が一元化された管理が望ましく思う。今後、前向きに関係部署と協議検討して行く。

高齢者の安否確認対策と無縁社会や無縁者対策

質問



・1. 高齢者の安否確認対策とネットワークの強化について伺う。2. 無縁社会や無縁者対策について、市の考え方と取り組みはどうか？ -3. 所在不明高齢者や孤独死の実態は？

- 1. **市長答弁** お互いのネットワークで安否確認する。そして民生児童委員や地域福祉推進委員の方々と共に、見回りや声かけ運動にさらに力を入れたい。また、地域福祉ネットワークも全町に早く設立する事を目指す。
-2. 閉じこもり防止等の自主防止活動の奨励や育成。老人福祉施設の活用による趣味活動や情報交換。長寿大学等の開催による生涯活動の推進そしてシルバー人材センターによる雇用や就労の促進を図る。生きがいがあり、安全安心に暮らせる社会を構築していきたい。自治体だけでは無く、市民皆さん協働でそれぞれの分野で役割や特性を生かし高齢化社会を迎えて行きたい。
-3. **健康福祉部長** 確認されている100歳以上の所在不明高齢者は373人で、孤独死については今年は今のところ確認されていないが去年は2人確認されている。

市立小学校のあるべき教育環境に関する提言に伴う取り組み

質問



・3月議会で私が質問した次の3点について、その後の取り組み状況を伺う。1. パブリックコメントや地域アンケートから聞こえてくる声と方向性について伺う。2. 複式や予想地域も含め、重点的に意見を伺う事への取り組み状況は？ 3. 様々な調査結果を踏まえ、実施に向けた方向性について夏頃を目途に見いだしていきたい事へのその後の状況は？

- 1. **教育長答弁** 5～6月にかけて市民から意見募集を行った。今回は具体的な計画を示さなかった事から、大きな関心を得る事が出来ず10数件程度であった。一部には学校が無くなる事による、地域活力の低下への不安や、ふるさと学習等、小学校が地域住民とのかかわり合いが深い事から、統合再編に反対する意見も寄せられた。
-2. これから地域の皆さんと、丁寧に意見交換をして行く事を考えている。
-3. 今回の耐震結果を踏まえると、第一に耐震化への取り組み計画案を示す事を最優先した。夏頃までに結論を見いだせなかった事をお詫びする。引き続き耐震化と並行して行って行く。

今回、私の議会質問は「七尾市における中期財政計画と今後の見通し」「(仮)まちづくり基本条例と協働のマニュアル作成」「国土調査事業に伴う地籍調査導入と取り組み」「スポーツ等合宿の郷づくり構想に向けた取り組み」「第23回全国健康福祉いしかわ大会」「高齢者の安否確認対策と、無縁社会や無縁者対策」「市立小学校のあるべき教育環境に関する提言に伴う取り組み」「七尾市発注工事に伴う積算根拠と適正価格の矛盾」について、以上

8点24項目について質問いたしましたので、ご報告いたします。

12月議会もケーブルテレビで議会生中継をご覧ください。

実況生放送



学校施設の耐震結果と今後の施設整備計画案

▼学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす場で有り、また災害時には緊急避難場所としての役割を果たす事から、その安全性の確保は極めて重要です。▼学校施設の耐震化は、国を挙げての最重要課題とされており、本市においても、すべての学校施設について、出来る限り早期に耐震化を進めなければなりません。▼この度、昭和 56 年度以前に建設された事から耐震診断が必要となっていた全ての学校施設について、耐震第二次診断が完了致しましたので、その結果を公表します。▼尚、診断の結果、耐震改修等を行わなければならない学校施設については、計画的に順次整備を行って行きます。

【対象校】…小学校 7 校、中学校 4 校(3 校)

【期 間】…H23 年度(H22 年度)～H26 年度

■小学校

小学校名	既存学校施設の耐震状況				整備計画案	
	区分	棟	建設年度	棟ごとの最低Is値	整備方針	着手時期
山 王	校舎	8	S38年07月～	0.16～0.31	改築(建て替え)	前 期
	倉庫	1	S53年08月	0.05		
	体育館	1	S41年11月	0.00		
小丸山	校舎	11	S44年10月～	0.13～0.54	改築(建て替え)	
	体育館	1	S46年03月	0.002		
有 磯	校舎	3	S48年04月～	0.33～0.59	地元合意を経て旧湊南中改修移転	
	体育館	1	S48年08月～	0.12		
北 星	校舎	2	S53年03月～	0.41～0.56	耐震補強改修必要箇所の改修	
	体育館	1	S53年11月	0.19		
田 鶴 浜	校舎	3	S48年02月～	(耐震改修済)	—	
	体育館	1	S49年03月	0.17	耐震補強改修必要箇所の改修	
徳 田	校舎	3	S54年03月～	0.53～0.65	耐震補強改修必要箇所の改修	後 期
	体育館	1	S44年03月	0.09	改築(建て替え)	
高 階	校舎	1	H01年07月	(新耐震基準)	—	
	体育館	1	S50年03月	0.31	耐震補強改修必要箇所の改修	

■中学校

中学校名	既存学校施設の耐震状況				整備計画案	
	区分	棟	建設年度	棟ごとの最低Is値	整備方針	着手時期
田 鶴 浜	校舎	2	S32年12月～	0.3～0.48	統合により新築	前 期
	体育館	1	S38年03月	0.42		
中 島	校舎	1	S37年04月～	0.36		
	体育館	1	S39年05月	0.00		
御 祓	校舎	3	S56年01月～	0.53～0.57	耐震補強改修必要箇所の改修	後 期
	体育館	1	H05年03月	(新耐震基準)	—	
	武道館	1	H08年03月	(新耐震基準)	—	
能 登 島	校舎	1	S43年03月～	0.30	香島中学校との統合により廃止	—
	体育館	1	S45年03月	0.11		

【Is 値】…Is(構造耐震指標)は、建築物の耐震性能を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高い事を表す。第一次診断に算定した Is 値が 0.8 以上の場合及び第二次診断等に算定した Is 値が 0.6 以上は耐震性がある建物となる。

1. 次の学校は、新耐震基準後に建設。すでに耐震改修を行っている為、対象から除く。→【小学校】天神山、東湊、石崎、和倉、中島、能登島。【中学校】七尾東部、朝日、香島、旧湊南、旧北嶺。
2. 耐震診断に当たっては、積雪地域である事から、校舎・体育館ともに、あらかじめ、1 mの積雪荷重を加えた状態で耐震能力を積算している。
3. 小学校については、今後の児童数の推移を踏まえ、より良い教育環境を実現して行く為、整備計画案を見直す事があります。

総合型地域スポーツクラブの必要性と今後の方向性や課題